

# 構造体強度補正值 $mS_n$ の標準値(JASS5-2018)

## 米沢地区

～標準養生した供試体の材齢28日における圧縮強度と構造体コンクリートの材齢91日における圧縮強度の差～

( $mS_n$ は、特記によるが、特記のない場合は $m$ を28日、 $n$ を91日とし、下表により $S$ 値を定める。・・・JASS5-2018 P238より)

構造体強度補正值 $S$	6	3	6 (暑中適用期間)	(寒中適用期間)
適用条件	打ち込みから28日までの予想平均気温・期間		日平均気温・期間	旬の日平均気温・期間
普通ポルトランドセメント	$0^{\circ}\text{C} \leq \theta < 8^{\circ}\text{C}$	$8^{\circ}\text{C} \leq \theta$	$25^{\circ}\text{C} < \theta$	$\theta \leq 4^{\circ}\text{C}$
	10月28日 ～ 12月14日 2月10日 ～ 3月29日	3月30日 ～ 10月27日 (暑中適用期間を除く)	7月26日 ～ 8月22日	12月1日 ～ 3月31日
早強ポルトランドセメント	$0^{\circ}\text{C} \leq \theta < 5^{\circ}\text{C}$	$5^{\circ}\text{C} \leq \theta$	$25^{\circ}\text{C} < \theta$	$\theta \leq 4^{\circ}\text{C}$
	11月12日 ～ 12月14日 2月10日 ～ 3月16日	3月17日 ～ 11月11日 (暑中適用期間を除く)	7月26日 ～ 8月22日	12月1日 ～ 3月31日
高炉セメントB種	$0^{\circ}\text{C} \leq \theta < 13^{\circ}\text{C}$	$13^{\circ}\text{C} \leq \theta$	$25^{\circ}\text{C} < \theta$	$\theta \leq 4^{\circ}\text{C}$
	10月5日 ～ 12月14日 2月10日 ～ 4月17日	4月18日 ～ 10月4日 (暑中適用期間を除く)	7月26日 ～ 8月22日	12月1日 ～ 3月31日

**調合管理強度: $F_m$ (呼び強度) = 品質基準強度: $F_q$ (設計基準強度: $F_c$ 又は耐久設計基準強度: $F_d$ の大きい方) + 構造体強度補正值 $mS_n$**

- ・構造体コンクリートの圧縮強度は、標準養生供試体強度(材齢28日)が調合管理強度(呼び強度)以上であれば合格とする。
- ・構造体から採取したコア供試体(材齢91日)による場合は品質基準強度以上であれば合格とする。
- ・現場水中養生供試体による場合、材齢28日までの平均気温が $20^{\circ}\text{C}$ 以上の場合は、圧縮強度の平均値が調合管理強度以上であれば合格とする。
- ・また平均気温が $20^{\circ}\text{C}$ 未満の場合は、圧縮強度の平均値から $3\text{N}/\text{mm}^2$ 減じた値が品質基準強度以上であれば合格とする。(JASS 5-2018 P403より)

(観測点) 北緯: 37度54.7分 東経: 140度08.6分 標高: 245m

(気象庁:過去の気象データ) 日ごとの値 2011年～2020年 による。(積算温度 $M_{91}$ が $840^{\circ}$  D・Dを下回る期間はありません。)